

再 閱

ボアソナード氏起稿

民法草案直譯

第四册

自第九十一條
至第六十五條

司法省記録文庫

第三百八號
九冊ノ内

第一四號

第八架

第一

司法省

第三號

寄贈圖書文庫

XB30

B

2

XB300
B I
E d

民法上ノ占有

第四ノ章 占有權ニ付テ

第一ノ節 占有ノ及ヒ夫レニ付キ(占有ヲ指ス) 受ク

ヘキ所ノ物等ノ種々ノ種類等

第一ノ區別

第一百九十一條 占有ハ自然又ハ民法上デアール

自然ノ占有

第一百九十二條 自然ノ占有ハ有形ノ物ノ所持デアール所

持人ガ此物ノ上ニ少シモ權利ニ主張ナ有ツコトナク

公ケケノ領地ノ財産等ハ各人等ノ方ヨリ自然ノ占有ナ

ラデハ受クヘクアラヌ(伊民法第六百九十條)

第一百九十三條 民法上ノ占有ハ有形体ノ物ノ所持即チ



權利ノ執行デアル自己ノ(民法上ノ占有ヲ指ス)爲メニ夫レヲ(有形ノ物)有スルノ意思ヲ以テ(佛民法第二千二百二十八条)

總テノ權利等ハ對物ト對人トノ間ハス民法上ノ占有カヲ受クベクアル異ナル効力等ヲ以テ場合等ニ從ヒ

占有ヲ受クヘキ權利等

彼レ等カ(權利等)以下ニ規定セラレテアル如ク人等ノ身位ニ適用スヘキ占有ハ第一ノ編ニ規定セラレテアル

第九十四條 民法上ノ占有ハ正當ノ名義ニ於ケル即チ正當ノ理由ニ於ケルト云フテアル若シ彼レカ(民法上ノ占有)彼レノ(同)性質ニ因リ占有セラレタル權利ヲ讓與スルニ供セラレタル法律上ノ所爲ノ上ニ基カレテアル時ハ縱令ヒ讓與者ノ内ニ身分ナク彼レカ(民法上ノ占有)指シ此(讓與)効力ヲ生出シ得ヌトモ(第五百五十條)

正當ノ名義ニ於ケル占有

若シ占有ガ侵奪セラレタル時ハ彼レハ(占有)無名義即チ無理由ト云フテアル

第九十五條 正當ノ名義ニ於ケル占有ハ善意ト云フテアル若シ占有者ガ夫レノ(占有)名義ノ瑕瑾等ヲ知

名義ナキ占有

善意ノ占有

第九十五條 正當ノ名義ニ於ケル占有ハ善意ト云フテアル若シ占有者ガ夫レノ(占有)名義ノ瑕瑾等ヲ知

惡意ノ占有

ラ、サ、リ、シ、時、ハ、夫、レ、ガ(名義ヲ指ス)創設セラレタル所ノ時ニ

夫、レ、ハ(占有ヲ指ス)惡意ト云フテアル反對ノ場合ニ於テハ

法律ノ錯誤ハ善意ヲ組立ツル爲メニハ許サレテアラ

又、善意ハ止息ス若シ名義ノ瑕疵等ガ發見セラレテアル

時ハ同上

時ハ同上

瑕疵アル占有

第一百九十六條 占有ハ瑕疵アリト云ハレテアル若シ夫

レ、ガ(占有ヲ指ス)暴行又タハ(暴行トシテ)隱密デアアル時ハ(第二千二百

二十九條)

暴行

夫、レ、ハ(占有ヲ指ス)暴行デアアル夫、レ、ガ(占有ヲ指ス)力又ハ脅迫ニ

依テ得ラレ又ハ保存セラレタル時ハ

隱密

夫、レ、ハ(占有ヲ指ス)隱密デアアル夫、レ、ガ(占有ヲ指ス)外部ノ及ヒ公

然ノ所爲等ニ依テ十分ニ關係人等ニ己レヲ(占有ヲ指ス)表

示セヌ時ハ

瑕疵ノ止息

占有ハ瑕疵デアアルコトカラ止息ス若シ夫、レ、ガ(占有ヲ指ス)安

穩トナリテアル時ハ又ハ若シ夫、レ、ガ(占有ヲ指ス)公ケトナ

リテアル時ハ

假定ノ占有

第一百九十七條 自然ノ占有ハ假定ト云ハレテアル若シ

占有者ガ他人ノ名ニ於テ及ヒ勘定ノ爲メニ物ヲ所持
シ又ハ權利ヲ執行スル時ハ

假定ノ止息

占有ハ假定デアールトカラ止息シ而シテ民法上トナル
若シ占有者ガ自己ノ(占有者)爲メニ占有スルトニ始メ

タル時ハ(第二千二百三十六條、第二千二百三十七條)

然レモ、若シ假定ガ名義ノ性質カラ生出スル時ハ、夫レ

ノ(名義)上ニ占有ガ基カレテアル所ノ夫レハ(假定)指ス

止息セヌ以下ノ二ノ原由等ノ一ニ因テナラデハ

第一 人ニ送達セラレタル裁判上ノ又ハ裁判外ノ

書類ニ因リ、占有ガ場所ヲ有テシ所ノ勘定ノ爲メ

ニ及ヒ彼レノ(人)權利等ニ明白ナル抵觸ヲ記入

シツ

第二 契約者ヨリ又ハ第三ノ人ヨリ生出シタル名

義ノ變換ニ因リ、及ヒ占有ニ新タナル原由ヲ與ヘ

タル(第二千二百三十八條)

法律上ノ推測

第九十八條 占有者ハ常ニ彼レノ(占有者)固有ノ勘定
ノ爲メニ占有スルト推測セラレテアル

若シ假定ガ証明セラレテアラヌ時ハ、彼レノ(占有者)証

書ニ因テニモセヨ事實ノ情狀等ニ因テニモセヨ(第二

千二百三十條)

續キ 第九十九條 者彼レハ(者ヲ)正當ナル名義ニ據リ占有

スルヲテ証明スル所ノ善意ニ付キ占有スルト推測セ

ラレテアル若シ反對ガ証明セラレテアラヌ時ハ(第二

千二百六十八條)

續キ 第二百條 占有ハ安穩ナリト推測セラレテアル若シ暴

行ガ証明セラレテアラヌ時ハ

公ケナルコトハ己レヲ(公ケナル)推測セヌ夫レハ(公ケナ

指大)証明セラレテアラヌ時ハ

異ナレル二箇ノ時日等ニ証明セラレタル占有ハ時間

ノ内ニ繼續セラレタリト推測セラレテアル若シ夫レ

ガ(不定代)証明セラレテアラヌ時ハ夫レガ(占有ヲ)中斷

セラレヌ又ハ停止セラレタナラバ(第二千二百三十四

條)

第二ノ節 占有ノ獲得

有民法上ノ占 第二百一 條 民法上ノ占有ハ己レヲ(民法上ノ占)獲得ス、

一ノ物ノ握有ノ所爲ニ因リ又ハ一ノ權利ノ實地ノ執

行ニ因リ、物ノ又ハ執行セラレタル權利ノ所有權ヲ自

己(同)ニ有スルノ意思ヲ以テ。

第二百二條 物ノ所持又ハ權利ノ執行ハ場所ヲ有ツコ

ト得、第三ノ人ノ所爲ニ因リ占有スルコトノ意思ハ己(代)レ

ト(意思)存セテ子バナラヌ、占有ニ付テ利益スルト主張

スル所ノモノ、一身ニ(第二千二百二十八條)

然レモ無能力者等及ヒ法律上ノ人等ハ占有ニ付テ利

益スルコトヲ得彼レ等ノ(無能力者等及ヒ法律上ノ人等ヲ指ス)名代人ノ所

爲及ヒ意思ニ因リ

第三ノ人ニ
得リテノ獲

手短ノ引渡

第二百三條 有形ノ占有ヲ取ルコトハ代替セラレテアル

コトヲ得、手短ノ引渡ニ因リ及ヒ占有ノ設定ニ因リ

夫レハ(不定代)ソコニ(同)手短ノ引渡ガアル前ニ假有ノ

名義ニテ占有セラレタル一ノ物ガ占有者ニ委テラレ

テアル時ハ新シキ名義ニ因リ夫レガ(新シキ名)夫レヲ

一ノ物(一ノ物)以來彼レノ(占有者)モノ、如ク見做スコト彼レ

ニ(全)許ルス所ノ

夫レハ(不定代)ソコニ(同)占有ノ設定ガアル者彼レガ(者)

指前ニ一ノ物ヲ占有セシ所ノ彼レ(全)ノモノ、如ク以

占有ノ設定

來他人ノ名ニ於テ及ヒ勘定ノ爲メニ夫レノ(一ノ物)占

有テ保存ストト明言スル時ハ

占有ノ移轉及ヒ繼續

第二百四條 占有ハ相續人等及ヒ財產全部ノ承繼人等

ニ己レテ(占有)移轉ス彼レ等ニ(相續人等及ヒ財產全部ノ承繼人等ヲ指ス)

對シテハ夫レガ(占有)繼續ス夫レガ(同)彼レ等ノ(相續人等

及ヒ財產全部ノ)死者ノ身ニ於テ有スルヲ得シ所ノ形

質等及ヒ瑕疵等ト共ニ

占有ノ合併

一ノ物ノ又ハ一ノ權利ノ特定ナル名義ニ於テノ獲得者等ハ得彼レ等ノ(獲得者等)利益ニ從ヒ又ハ彼レ等ノ

(全)固有ノ占有ノミチ申立ルヲ又ハ彼レ等ノ(全)讓與

者ノ夫レテ(占有)己レニ(獲得者等)伸暢スルヲ得夫

レテ(讓與者ノ占有)彼レ等ノ(獲得者等)モノ(占有)ニ合併

シツ、(第二千二百三十五條)

第三ノ節 占有ノ効力等

第二百五條 者彼レハ(者)民法上占有スル所ノ推測セ

ラレテアル反對ノ証據ニマテ彼レガ(者)行フ所ノ權

利ヲ正當ニ有スルト故ニ彼レガ(全)常ニ此ノ(行フ所ノ

權利ニ關スル所有回復ノ訴等ニ於テ又ハ所有權取

民法上ノ占有第一ノ便宜

天然果實ノ獲得

戻ノ訴ニ於テ被告人デアール

第二百六條 占有者彼レハ(占有者ヲ指ス)正當ノ名義及ヒ善意

ヲ有スル所ノ天然ノ及ヒ人工ノ果實等及ヒ産物等ヲ

獲得ス夫レ等ガ(果實等及ヒ産物等ヲ指ス)土地ヨリ取離レテアール

所ノ時ニ彼レ(占有者ヲ指ス)ニ因リ又ハ彼レノ(全)名ニ於テ第

五百三十八條

民法上ノ果實等ノ獲得

彼レハ(占有者ヲ指ス)日毎ニ民法上ノ果實等ヲ獲得ス夫レハ

(不定代)入額所得者ニ付テ云フテアール如ク

若シ占有者ガ善意ニ付テアール時ハ正當ノ名義ヲ有ス

中間ノ場合

ルコナク彼レハ(占有者ヲ指ス)消費シタル果實等ヲ返還スル

コカラ免レテアル彼レガ(全)夫レニ付テ(果實等ヲ指ス)利得レ

テアラヌコナナ分明シツ

惡意ノ偶然生スルコ

此ノ便益等ハ將來ノ爲メニ止ム占有者ガ物又ハ占有

セラレタル權利ガ彼レニ(占有者ヲ指ス)屬セヌコナナ發見シタル

ル時ヨリ夫レ等ガ(此ノ便益等ヲ指ス)止ム總テノ場合ニ於テ裁

判所ノ認求カラ若シ夫レガ(認求ヲ指ス)確定ニ勝ツ時ハ(第

五百五十條

惡意ノ占有

第二百七條 惡意ノ占有者ハ返還スルコナナ擔任シテア

ル、物又ハ取戻サレタル權利ト共ニ、彼レガ（惡意ノ占有者ヲ指ス）
 猶ホ性質ニ於テ占有スル所ノ果實等及ヒ產物等ヲ又
 ハ彼レガ（全）消費シタル又ハ彼レノ（全）過失ニ因リ己レ
 小（果實等及ヒ產物等ヲ指ス）損敗セシメタル所ノ夫レ等（全）ト彼レ
 小（惡意ノ占有者ヲ指ス）收取スルヲ怠リタル所ノ夫レ等ノ（果實及ヒ
 產物等）價直ヲ

費用等保存改良費等

彼レノ（惡意ノ占有者ヲ指ス）一方ニ付テハ、取戻ヲ爲ス者ハ彼レ
 小（全）返還セシメバ、ナラヌ果實等ノ通常ノ責任デアル所
 小ノ費用等及ヒ保存改良費等ヲ（第五百四十九條）

者彼レハ（者ヲ指ス）暴行ニ因リ又ハ（秘密ニ占有スル所ノ常
 小ニ果實等ニ付テハ惡意ノ占有者ノ如ク見做サレテア
 小ル、彼レガ（者ヲ指ス）彼レノ（全）名義ノ正當ニ於テ信スルデア
 小ロ一所ノ時ト雖（モ）

必要ナル、有益ナル、費用等

第二百八條 凡テノ占有者ハ善ノ又ハ惡ノ意ノ返還セ
 小ラレテアラバ、子ハナラヌ、取戻ヲ爲ス者ニ因リ、必要ナル
 小即テ物ノ保存ノ爲メニ爲シタル費用等及ヒ有益ナル
 小即テ夫レノ（物ヲ指ス）價直ヲ増加シタル所ノ（第千六百三十

四條

何レノ占有者モ贅澤ノ即チ純粹ノ娛樂ノ費用等ノ返還ニ權利ヲ有セヌ

留置ノ權利

第二百九條 先タル二條ノ場合ニ於テ占有者ハ物ノ留置ノ權利ヲ有ス費用等ノ全キ返還ニマデ夫レ等

指ニ於テ取戻ス者ガ言渡サレテアル所ノ伊民法第百六條

毀損等

第二百十條 物ニ爲サレタル毀損等ニ付テハ惡意ノ占有者ハ夫レニ付テ

指ス夫レニ付テ(物ニ爲シタル)所有者ヲ賠償スルニ付テ擔任シテアル凡テノ場合等ニ於テ及ヒ善意ノ占有者ハ

場合ニ於テ及ヒ限度ニ於テノミ彼レガ(善意ノ占有者ヲ)夫レニ付テ(物ヲ)利得シテアル所ノ(第千六百三十二條)

因用獲得ノ送付

第二百十一條 條件等夫レ等ノ(條件等)下ニ占有者ガ所有權ノ期滿獲得即チ因用獲得ニ到着シ得ル所ノ動産等ト不動産等トノ第三ノ編ニ規定セラレテアル

第二百十二條 占有者ハ有ス占有ヲ保持シ又ハ回復スル爲メニ保安ニ於ケル新事業ノ又ハ切迫ノ損害ノ告發ニ於ケル及ヒ占有回復ニ於ケルト云ヘル占有ノ訴

占有ノ訴權

十九

權等ヲ、以下ノ區別等ニ從ヒ、佛蘭西訴訟法第二十三條

ヨリ第二十七條マテ、千八百三十八年五月二十日法律

第六條

保安ノ訴權

第二百十三條 保安ノ訴權ハ、占有者ニ屬ス、彼レハ(占有者ヲ

指ス)第三ノ人ノ方ヨリ受クル所ノ、彼レノ(同上)占有ニ反對

スル申立ヲ含蓄スル事實ノ又ハ權利ノ妨害ヲ

夫レハ(保安ノ訴權ヲ指ス)目的トス、妨害ヲ止ムルコトヲ爲スコトニ

及ヒ夫レヲ(妨害ヲ指ス)賠償スルコトニ

夫レハ(保安ノ訴權ヲ指ス)占有者ニ屬ス、不動産トノ、動産等ノ包

合財産又ハ特定ノ動産トノ

新事業ノ告發

第二百十四條 新シキ事業ノ告發ハ、不動産ノ占有者ニ

屬ス、鄰ノ土地ノ上ニ始メタル事業等ヲ止ムルコト又ハ

變スルコトヲ爲ス爲メニ及ヒ夫レノ(事實等)成就ガ彼レ

ノ(占有者)占有ニ妨害ヲ爲スヲアロー所ノ

切迫損害ノ告發

切迫損害ノ告發ハ、不動産ノ占有者ニ屬ス、彼レハ(不動産ノ

占有者)損害ヲ恐ル、コトノ正シキ事項ヲ有スル所ノ建

物ノ、樹木ノ又ハ他ノ物件ノ墜落ニモセヨ、堤ノ貯水所

ノ又ハ水管ノ破壊ニモセヨ、火ノ又ハ可燃ノ又ハ爆發

ノ物等ノ使用ニモセヨ、必要ナル豫防等ヲ、夫レハ切

損害ノ告目、目的トス、危険ニ對スル豫防ノ處置等ヲ與フ、

ル、フ、ヲ爲ス、フニ於テ又ハ將來ノ損害ノ賠償ノ保証人、

ヲ得ル、フニ於テ〔伊民法第六百九十九條〕

第二百十五條 保安ニ於ケル訴權及ヒ新シキ事業ノ又

ハ切迫ノ損害ノ告發ニ於ケル夫レハ〔訴權ヲ〕屬セ又者

ニ於テナラデハ彼レハ〔者ヲ〕民法上ノ平穩ノ及ヒ公ケ

ノ占有ヲ有スル所ノ其他、不動産ノ占有者ニ付テハ夫

レハ〔占有ヲ〕滿ノ一年間繼續セラレテアラ子ハ、ナラヌ

此等ノ訴權
等ニ付キ要
セラレタル
條件等

占有回復ニ
於ケル訴權

第二百十六條 占有回復ニ於ケル訴權ハ占有者ニ屬ス、

奪取セラレテアリタル所ノ所爲ノ強暴等ニ因リ、脅迫

等ニ因リ又ハ詐術ニ因リ、動産等ノ包含財産ノ又ハ特

定ノ動産ノ全部又ハ一部カラ、彼レノ〔占有者〕占有ガ自

カラ同一ノ瑕瑾等ノ一ノ附着セラレテアラヌコトヲ要

ス、被告人ニ對シテ

夫レハ〔占有回復ニ於ケル〕者等ニ對シテ執行セラレテア

ル、フ、ヲ得又彼レハ〔者等ヲ〕特別ノ名義ニテ奪取セラレ

タル占有ニ承繼シタル所ノ若シ彼レ等カ〔者等ヲ〕奪取

何人ニ對シ
テ占有訴權
ヲ行フヤ

ヲ組成スル不法ノ所爲等ニ干與シタルルキナラテハ、
夫レハ（占有回復ニ於ケル訴權ヲ指ス）屬ス、假定ノ占有者ニト民法ノ
占有者ニト及ヒ占有ガ未タ一年ヲアラヌテアロー所
ノ者ニ

占有ノ三個
ノ訴權等ノ
期限

第二百十七條 保安ニ於ケル及ヒ占有回復ニ於ケル訴
權等ハ受理スヘクアラヌ妨害ノ又ハ占有奪取ノ年ニ
於テナラデハ、
新シキ事業ノ告發ハ受理スヘクアラヌ、爭訟セラレタ
ル事業等ガ遂ゲテアラヌ間ハ、夫レガ（不定代名詞）己レヲ（全上）

一年經過シテアラヌヨリハ、事業等ガ成就セサルトモ、
占有者ニ妨害ヲ加エタルヨリ、
切迫ノ損害ノ告發ハ許容セラレテアル危険ガ存スル
以上ハ、

占有訴權及
ヒ所有回復
ノ併行セサ
ル

第二百十八條 占有ノ訴權等ハ所有回復ノ訴權ト共ニ、
併行セラレテアルヲ得ヌ、
占有ノ訴ノ判事ハ得ヌ雙方等ノ權利ノ基本カラ引出
シタル及ヒ夫レヲ（權利ノ基）豫斷スルヲニ於ケル性質
ノ理由等ノ上ニ彼レノ（判事ヲ）判決ヲ基クヲテ、

彼レハ(判事ヲ)占有ノ上ニ裁判スルヲニ最早中止スル
 得ス雙方等ガ所有回復ノ訴ヲ裁判スルヲ爲シタ
 ル所ノモノマテ夫レガ(所有回復ノ)既ニ裁判所ニ於テ
 訴エラレテアルト雖モ

占有回復ノ
 訴ノ中止ノ
 場合

第二百十九條 若シ所有回復ノ訴ガ雙方等ノ一又ハ他

ニヨリ訴エラレテアル時ハ占有ノ訴ガ差出サレテア
 ツタフノ後ナニ同一ノ裁判所ノ前ニモセヨ異ナレル
 裁判所ノ前ニモセヨ夫レカ(不定代)所有回復ノ訴ニ付
 キ裁判スルヲニ於テ中止セラレテアラバナラヌ占

有ニ付キ確定ノ裁判マデ

夫レハ(不定代)夫レニ付テ(上文ヲ)同一デアアル若シ所有

回復ノ訴ニ於テノ被告人ガ己レヲ(被告人)ナルキハ訴

訟ノ最中ニ占有ニ於テ原告人ト夫レガ(不定代)第二百

二十一條ニ掲ケテアル如ク

占有ノ訴ヲ
 爲ス權利ヲ
 失フ

第二百二十條 者彼レハ(者ヲ)所有回復ニ於テ訟求ヲ作

リタル所ノ占有ノ訴ニ於テ最早行爲スルヲ得ス第
 一ノ訟求ニ於テ前ノ事實等ニ付キ己レヲ(者ヲ)此ノモ

ノ(第一ノ訟)ニ付キ願下シツ、デモ然レモ彼レハ(者ヲ)

原告人又ハ被告人トシテ繼續スルヲ得既ニ爲シタル

ル占有ニ於テノ訟求ニ付キ

總テノ場合等ニ於テ者彼レハ(者ヲ指ス)確定ニ所有回復ニ

於テ敗訴シタル所ノ占有ノ訴ニ於テ行爲スルノ權ヲ

失フテアル

反訴ノ訟求

第二百二十一條 被告人ハ所有回復ノ訴ニ於テニモセ

ヨ占有ノ訴ニ於テニモセヨ得同一ノ訴訟ノ中ニ己レ

ヲ(被告人)自カラ(全)占有ノ訴ニ於テ原告人トナルヲ

反訴ニテ同一ノ訴權ニ因ルニモセヨ他ノモノニ因ル

ニモセヨ

占有ノ裁判

第二百二十二條 若シ占有ノ訴ガ証明セラレテアル時

ハ判事ハ命令スルデアロハ場合等ニ從ヒ妨害ノ止ム

ヲ奪取セラレタル物ノ返還ノヲ告發セラレタル事業

等ノ繼續セサルヲ又ハ變更スルヲ又ハ切迫ノ損害ノ

豫防ノ處置等ヲ彼レハ(判事ヲ指ス)言渡スルデアロハ同レ

キ時ニ於テ損害賠償等ニ於テ被告人ヲ若シ夫レガ(不

代名)ソコニ(損害賠償)場所ヲ持ツナラハ

新シキ事業ノ又ハ切迫ノ損害ノ告發ノ場合ニ於テ彼

所有回復ニ於テノ訟求

レハ(判事ヲ)亦タ命令スルコトヲ得被告人ニ彼レガ(全判)定スルデアロー所ノ將來ノ損害等ノ高ニ付キ保証人ヲ出スコトヲ(伊民法第六百九十九條)

第二百二十三條

被告人彼レハ(被告人)占有ノ訴ニ於テ

敗訴シタル所ノ所有回復ノ訴ニ於テ行爲スルコトヲ得

然レモ彼レニ(被告人)對シテ爲サレタル言渡等ニ於テ

執行シタル後ノミニ

若レ夫レ等カ(言渡ノ金額ヲ指ス)計算セラレテアラザル時ハ彼

レハ(被告人)書記局ニ附托スルデアローソコニ(言渡ヲ指ス)

執行スルガ爲メニ十分ナル金額ヲ

第二百二十四條

原告人ハ彼レハ(原告人)占有ノ訴ニ於

テ敗訴シタル所ノ申立ラレタル事實等ノ証明ノナキ

又ハ夫レノ(原告人)訟求ガ受理セラレヌト言渡サレテ

アツタ所ノ運キトシテ又ハ彼レノ(原告人)占有ガ要セ

ラレタル條件等ヲ盡サ、リシガ故ニ猶ホ所有回復ノ

訴ニ於テ行爲スルヲ得

第二百二十五條

占有ノ訴ニ關スル管轄及ヒ他ノ規則

等ハ訴訟法ニ定メラレテアル

訴訟法ニ送付

續キ

第四ノ節 占有ノ滅失

占有ノ滅失 第二百二十六條 占有ハ己レテ(占有ヲ)滅失ス

第一 自身ノ爲メ又ハ他人ノ爲メニ占有スルノ意

思ノ止息ニ因リ;

第二 物件ノ所持ノ又ハ權利ノ執行ノ隨意ノ又ハ

法律上強令ノ拋棄ニ因リ;

第三 第三ノ人ノ占有ヲ爲シタルトニ因リ、不法

リモ夫レガ(占有ヲ爲シタ)一ケ年以上ヲ繼續シタ

ルモ占有保安ニ於ケル又ハ占有回復ニ於ケル訴

權ガ執行セラレテアツタトナク;

第四 物件ノ又ハ權利ノ全部ノ毀壞ニ因リ又ハ滅

失ニ因リ夫レハ(物件又ハ權)占有ノ目的ヲ爲ス所

第五章 地役等

地役等ノ性質

第二百二十七條 地役等ハ或ル土地ノ上ニ設定シタル

責任等デアアル他ノ所有者ニ屬シツ、土地ノ利益ノ爲

メニ(佛民法第六百三十七條第六百三十九條) 夫レ等ハ(地役等)法律ニ因リ設定セラレテアル又ハ人

夫レ等(地役等)原由等

ノ所爲ニ因リ設定セラレテアル(伊民法第五百三十二條)

第一ノ節 法律ニ因リ設定セラレタル地役等

第一ノ款 鄰ノ地ノ上ニ立入りノ及ヒ通行

ノ權等

立入りノ權 第二百二十八條 凡テノ所有者ハ隣ノ地ノ上ニ立入り

ヲ求ムルコトヲ得土地等ノ境界ノ上ニ又ハ甚ダ接近シ

タル距離ニ於テ置カレタル彼レノ(凡テノ所有者)牆壁等

ノ又ハ建築物等ノ建築及ヒ修復ノ爲メ彼レガ(全)彼レ

(上)固有ノ土地ノ上ニ工事等ヲ爲スコトヲ得ルコトノ爲

メ(伊太利ノ民法第五百九十二條)

立入りノ時

第二百二十九條 要急ノ又ハ全キ必須ノ場合ヲ除ク外

建築ノ又ハ修復ノ工事等ハ夫レ等ガ(工事等)收獲等ニ

害スルコトヲ得ルダロト所ノ時期ニ於テ爲サレテアル

コトヲ要セ又隣地ノ所有者ノ一時ノ不在ノ場合ニ於ケ

ルヲモ

立入りノ場

何レノ場合ニ於テモ夫レ等ハ(全)得又隣人ノ承諾ナク

彼レノ(隣人)住居ノ家ニ於テ立入りヲ理由トスルコト

賠償

チ、修復ヲ要シツ、建築物等ニ接近シタリトモ

第二百三十條

何レノ場合等ニ於テモ隣人彼レハ

立入權ヲ與フル所ノ彼レニ隣人ヲ被リタル妨害ノ

上ニ量定シタル賠償ヲ受クルヲ得執行シタル工事

等ノ性質ニ及ヒ期限ニ從ヒ

閉園ノ場合ノ通路

第二百三十一條

若シ一個ノ土地ガ一個ノ又ハ數個ノ

他ノ土地等ノ中ニ閉園セラレテ己レチ一個ノ土見出

スルハ夫レガ一個ノ土公ケノ路ト通スルヲ得又如

クニテ夫レガ此ノ土地等ノ上ニ通路ヲ夫レニ供

給セラレテアルコトヲ要スルダロコ公ケノ路ニマデ正

當ノ賠償ヲ出シテ佛蘭西ノ民法第六百八十二條伊太

利ノ民法第五百九十三條

土地ハ閉園セラレタル如ク看做サレテフルコトヲ得夫

レガ土地ヲ通スルコトヲ持タヌルハ堀割ヲ以テナラデ

ハ公ケナモ河又ハ海ヲ以テナラデハ又夫レガ全ク

公ケノ路ノ崖上ニ於テ又ハ崖下ニ於テアルルハ

通路ノ廣幅

第二百三十二條

供シタル通路ハ馬車等ヲ通スル爲メ

ニ充分廣クアラ子ハナラヌ若シ住人等ノ需用等又ハ

費用等

土地等ノ耕作ガ夫レテ(供シタル通)要スル(供シタル通)ハ
 通路ノ設定ノ及ヒ保存ノ工事等ハ閉圍セラレタル土
 地ノ負擔ニ於テアル

通路ヲ定ム

第二百三十三條 通路ノ線ヲ定ムルコトニ付キ關係人等

ノ協議調ハサルノ場合ニ於テ夫レガ(通路ノ線ヲ定ムルコトヲ指ス)裁

判所ニ因リ爲サレテアル彼レガ(裁判所)議和スル所ノ

成ル可クコト丈ケ道路ノ便宜ト通過シタル土地ニ瑣

少ノ損害トナシ(第六百八十三條)

償金

第二百三十四條 償金ガ元金額ニ於テ定メラレテアル

ダロ一双方ノ者等又ハ裁判所ハ思量セ又多少接近シ

タル時間ニ於テ夫レガ(不定代)公ケノ路ガ開設セラレ

テアルダロ一ナラデハ又ハ夫レガ(全)斯ノ如キ他ノ事

變ガ到來スルダロ一ナラデハ(他ノ事變)閉圍ヲ

止メシムルダロ一所ノ此ノ場合ニ於テ償金ガ年金等

ニ於テ規定セラレテアル

閉圍ノ止息

此ノ最後ノ場合ニ於テ通路及ヒ年賦ノ償金ガ要メラ
 レテアルコトヲ止ム互ニ閉圍ガ止ミタルコトカラ

續キ

若シ償金ガ元金額ニ於テ定メラレタル而シテ閉圍

ガ止息スルコトニ來ル片供用ノ地ノ所有者ハ彼レガ(供
ノ地ノ所有)受取リタル所ノ償金ヲ返還シツ、通路カ
者ヲ指ス(全)免カルクコトヲ得

年金ノ買戻

第二百三十五條 若シ償金ガ年金ニ於テ規定セラレタ
ル時ハ双方ノ者等ニ因テニモセヨ、裁判所ニ因テニモ
セヨ、所有者彼レガ(所有者)夫レニ付テ(償金ヲ)負擔セラ
レテアル所ノ夫レニ付テ(同上)五ケ年ノ後チ己レヲ(所有
者)免カルクコトヲ得年金二十倍ニ當ル元額金ヲ新濟シツ、

供用ノ地ノ所有者ハ亦同一ノ元額金ヲ要求スルコトヲ得
若シ年金ノ義務者ハ夫レヲ(年金ヲ)新濟スルコトニケ
年ヲ經過セシメタル片ハ夫レニ付テ(全)法式ニ從ヒ催
促セラレテアツタル後チ

無償金ノ通

第二百三十六條 若シ閉圍ガ土地ノ一部ノ讓與カラ又

ハ共同所有者間ニ分配カラ生スル片ハ通路ガ與ヘラ
レテアル償金ナク、讓與者又ハ共同分配者ニ因リ而シ
テ夫レガ(通路ヲ)閉圍ヲ止メシメツ、公ケノ路ノ新設
ト共ニ止息ス(新第六百八十四條ヲ見ヨ)

第二ノ款 水等ノ流通使用及ヒ引致

雨ノ水等及ヒ泉源ノ水等

第二百三十七條

低下ノ地等ノ所有者等ハ自然上高上

ノ地等ヨリ流出スル所ノ雨ノ水等若クハ泉源ノ水等

ヲ受クルコトニ於テ從フテアル人ノ手ガソコニ(雨ノ水

ハ泉源ノ水)分力シタリシコトナク(第六百四十條)

假令ヒ水等ノ流通カ人ノ手ノ事業等ニ因リ創設セラ

レ若クハ變更セラレタルモ三十ヶ年以上ニ若クハ

知ル能ハサル時期ニ溯リツ、地役カ争抗セラレテア

ルコトヲ得ヌ

堤等ノ又ハ他ノ事業等ノ破壊

第二百三十八條

若シ塘等ノ堤等ノ又ハ水等ヲ包蓄ス

ルコトニ於テ供シタル他ノ事業等ノ破壊ニ因リ又ハ隠

溝等若クハ運河等ノ埋塞等ニ因リ高上ノ地等以上ニ

夫レカ(不定代)己レヲ(同)生スルモハ水流ヲ劇増スル所

ノ又ハ夫レニ付テ(水流ヲ)方向ヲ變更スル所ノ漲溢等

ヲ低下ノ所有者等ハ急迫ナレ損害ノ報告ヲ爲スコトヲ

得而シテ高上ノ所有者ノ費用等ニ於テ修復等ヲ爲ス

コトニ於テ許與セラレテアルコトヲ得(第二百十四條及ヒ

第二百二十二條ニ循ヒ

若シ水等ノ流通ガ異變ニ因リ低下ノ地等ノ上へ障礙

セラレテ己レレテ(水等ノ流通ヲ指ス)見出スルハ高上ノ所有者カ

己レ等ノ(高上地ノ所有者ヲ指ス)費用等ニ於テ平常ノ流通ヲ恢復

スル爲メニ必要ナル事業等ヲ爲スヲ得然レモ彼レ

ハ(高上地ノ所有者ヲ指ス)夫レニ付テ(必要ナル事業等ヲ指ス)余義ナクサレテ

アラヌ伊太利ノ民法第五百三十七條第五百三十八條

第二百三十九條 所有者等ハ爲スヲ得又隣ノ地等ノ

上ニ彼レ等ノ(所有者等)家用ノ水等ヲ流通セシムルヲ

モ工業ニ因リ若クハ灌水ニ因リ變性シタル自然ノ水

家用ノ及ヒ工業用ノ水等

等ヲモ隠溝ノ地役ト云フテアル所ノモノヲ除ク第二

百五十二條ニ因リ

屋霏

彼レ等ハ(所有者等)亦タ彼レ等ノ(同)屋根等若クハ平屋

根等ヲ作ルヲ得又雨ノ水カ直チニ隣ノ地ノ上ニ落

ツルヲノ如斯基方法ニ付テ第六百八十一條

泉源等ノ使

第二百四十條 泉源ノ所有者ハ夫レニ付テ(泉源ヲ)彼レ

ノ(所有者)隨意ニ於テ使用スルヲ得及ヒ隣地へ遺ラ

サルヲ得自然此等ノ者(隣地)ノ内ニ己レレテ(水)

ヲ指流通セン所ノ水ノ餘リヲ云フテアル所ノモノヲ

除ク、後ノ節ニ於テ、期滿得免ニ因リ此等ノ水等ノ獲得

ニ就キ〔第六百四十一條、第六百四十二條〕

續キ〇一ノ
邑ノ權利等

第二百四十一條 若シ泉源ノ水等ガ一ノ邑若クハ村ノ

住民等ノ家ノ用等ニ於テ必要テアル井ハ所有者ハ彼

レニ(所有者)有益テアラヌ所ノ此等ノ水等ノ部分ヲ己

レテ(此等ノ水等ノ)流通セシムルヲカラ余義ナクサレ

テアル

邑ハ得ルダロ、夫レ等ノ(邑ヲ)入費等ニ於テ水等ノ集

聚ニ於テ及ヒ引致ニ於テ必要ナル事業等ヲ土地ノ上

ニ執行セシムルヲテモ夫レ等カ(必要ナル事)土地ニ承

久ナル損害ヲ起サヌ及ヒ償金ヲ約シテ

邑ハ要スルダロ、其他水等ノ使用ノ爲メニ償金ヲ若

シ夫レカ(不定代名詞)既ニ三十ヶ年ノ間無償ニ執行セラレ

テアラナンダリ、井ハ〔第六百四十三條〕

第二百四十二條 他ノ場合等ニ於テ、若シ私シノ泉源ノ

水等ノ餘カ路上ニ己レテ(水等ノ餘)流失スル井ハ何人

ニモ利益スルヲナク、前記ノ水等ノ出口カラ最モ近キ

隣人カ彼レノ(隣人ヲ)内ニ夫レ等ヲ(水等ヲ)誘引スルヲ

續キ〇路上
ニ流失スル
水等

ノ權能ヲ要求スルコトヲ得假ニ必要ナル專業等ヲ爲シ

ツ、夫レカ(不定代)前ノ條ニ於テ云フテアル如ク(伊太

利ノ民法第五百四十五條

流ル、水○
沿水等ノ權
利等

第二百四十三條

所有地カ第二十五條ニ因リ公ケノ領

地ノ部分ヲ爲サ又及ヒ各人ニモ屬セ又流ル、水ニ接

シテアル所ノ者ハ夫レニ付テ(流ル、水)夫レノ(同)通路

ニ於テ使用スルコトヲ得家ノ用等ノ爲メ彼レ等ノ(流ル

ニ接シテアル)土地等ノ灌水ノ爲メ又ハ彼レノ(同)工業

ノ爲メ然レモ夫レニ付テ(流ル、水)流路ヲ變更スルコト

ナク

若シ反對ニ於テ土地ガ同シキ性質ノ水ニ因リ通過シ

テアルモハ所有者ハ彼レノ(所有者)土地ノ内部ニ於テ

夫レニ付テ(水)流路ヲ分引スルコトヲ得同一ノ需用等

ノ爲メ然レモ夫レノ(同)自然ノ流路ニ夫レヲ(同)復スル

コトノ責務ニ於テ彼レノ(所有者)土地ノ出口ニ於テ(第六

百四十四條)

一ノ及ヒ他ノ場合ニ於テ沿水ノ所有者等ハ漁獵ノ權

利ヲ有ス地方ノ規則等ニ己レヲ(沿水ノ所有)循ヒツ、

第二百四十四條 前ノ條ニ於テ豫見シタル二個ノ場合

等ニ於テ若シ夫レカ(不定代)ソコニ(同)此等ノ水等カ有

益テアルコトヲ得ル所ノ低下ノ所有者等ノ方ヨリ爭抗

カアル所ハ民事ノ裁判所等ハ裁決スルダロシ、地方ノ

習慣等ヲ參酌シツ、及ヒ家用ノ衛生ノ要用等ト農業

ノ工業ノ利益等トヲ協和シツ、(第六百四十五條)

水等ノ取締

第二百四十五條 其他先立ツ所ノ性質ノ水等ノ一般ナ

ル取締ハ地方ノ官廳ニ屬ス必要ナル所置等ヲ設定ス

ルコトヲ得ル所ノ夫レノ(水等ヲ)自由ナル流通ノ爲メト

夫レノ(同)保存ノ爲メ及ヒ魚ノ夫レノ(保存ヲ)爲メ丈ク

水ノ通路等
ノ浚通

第二百四十六條 前述ノ水ノ通路等ノ浚通ハ沿水ノ所

有者等ノ責務ニ於テアル、此事ニ於テ己レヲ(沿水ノ所

指)協議スルコト及ヒ己レヲ(同)結社スルコトヲモ得ル所

彼レ等(沿水ノ所有)者等ヲ指スニ因リ浚通ニ爲スコトナキニ於テ

地方ノ廳ニ因リ定メラレタル時期等ニ於テ夫レカ(不

代名)ソコニ(同)執行セラレテアルダロシ、此ノ者(地方ノ

ス)ニ因リ、彼レ等ノ(沿水ノ所有)費用等ニ於テ

各人ノ分擔ノ部分ノ徵收、他ノ地方ノ稅等ニ對スル

ト同一ナル方法ニ付キ己レテ(徵収ヲ指ス)爲スダロ

築堤等ノ

第二百四十七條

沿水ノ所有者ハ彼レノ(沿水ノ所有者ヲ指ス)方

ノ堤等ヲ築クヲ得ヌ若シ彼レカ(同)夫レニ付テ(堤等ヲ築クヲ指ス)

對向ノ岸ノ所有者ニ對シ損害ヲ生ゼ子バナラ

ヌハ

若レ必要ナリト認メラレタル築堤ノコガ數多ノ沿水

ノ所有者等ヲ益スル片及ヒ若シ彼レ等カ(數多ノ沿水ノ所有者等)

夫レテ(築堤ノコ)執行スル爲メ己レテ(數多ノ沿水ノ所有者等)

協議セヌ片ハ夫レガ(築堤ノコ)ソコニ(上文ヲ)地方

ノ廳ニ因リ執行セラレテアルコトヲ得ルダロ

等ノ費用等ニ於テ夫レガ(不定代)此ノ上ニ云フテアル

如ク

湖水等、池沼等

第二百四十八條

前ノ五ヶ條等ノ條例等、湖水等ニ又

ハ沼池等ニ適用スベクアル、同一ノ景狀等ニ於テ己レ

テ(湖水等又ハ池沼等ヲ指ス)存シツ

公ケノ領地ノ水等

第二百四十九條

水等ノ使用及ヒ取締ハ一般ノ又ハ一

地方ノ公ケノ領地ノ部分ヲ爲シツ、上等ノ又ハ地方

ノ官廳ニ因リ規定セラレテアル行政ノ法等ニ循ヒ

水等ノ通路

第二百五十條

權利ヲ有スル所ノ總ノ所有者ハ彼レ

ノ(總テノ所有)土地ノ外ニ存在シタル自然ノ又ハ人工

ノ水等ヲ使用スルコトノ夫レニ付テ(自然ノ又ハ人工)要

求スルコトヲ得償金ヲ約シテ、高上ナル中間ノ土地等ヲ

經過シテ通路ヲ灌水及ヒ家ノ用等ノ爲メト工業ノ爲

メ丈ケ(千八百四十五年四月二十九日、千八百四十七年

七月十一日ノ佛蘭西ノ法律等、伊太利ノ民法第五百九

十八條)

第二百五十一條

先立ツ所ノ條例ハ行政廳ニ因リ許與

續キ

セラレタル水ヲ汲ム等ニ己レヲ(條例)適用ス、夫レノ

(水ヲ汲ム)期限カ如何アルトモ、及ヒ各人等ニ因リ爲サ

レタル夫レ等(同)ニ許與ヲ得タル者ノ畢生間ノ爲メニ、

モ、セ、ヨ、定メタル時期ノ爲メニ、モ、セ、ヨ、若シ夫レガ(定メ

時期ヲ)尙ホ少クトモ五ケ年ヲ繼續セ、子、バ、ナ、ラ、ヌ、并、通

路ガ要求セラレテアル所ノ時ニ於テ(伊太利ノ民法第

六百四條)

第二百五十二條

同シク、低下ノ地等ノ所有者等ハ通路

ヲ供スルコトカラ余義ヲクサレテアル公ケノ道ニマデ

續キ

ニモセヨ、下水又ハ公ケノ水ノ流路ニマデニモセヨ、水
 等ノ流通ノ爲メ、水拔ヨリ又ハ没水ノ土地等ノ乾涸ヨリ
 生出シツ、及ヒ餘分ノ水等ノ除去ノ爲メ、彼レノ
 ノ地等ノ所有（家ノ農業ノ若クハ工業ノ用ノ後）ニ
 者等ヲ指ス）若シ通路カ要求セラレテアル所ノ水等ハ家ノ若クハ
 工業ノ用等ニ因リ變性セラレテアル所ノ水等ハ、通路ハ要求
 セラレテアルコトヲ得ヌダロ、地下ノ流通ニナラテハ、
 〔千八百五十四年六月十日ノ佛蘭西ノ法律、伊太利ノ民
 法第六百九條、第六百十條〕

續キ

第二百五十三條

水路ハ取ラレテアルダロ、出來ルコ
 丈ケ、供用ノ地等ニ於ケル少ナキ損害ノアル場所等ニ
 於テ、

何レノ場合ニ於テモ、夫レハ（水路ヲ）建築物等ヲ經過シ、
 テ要求セラレテアルコトヲ得ヌダロ、住家等ニ接近シ、
 タル庭等又ハ園等ニモ（同上）伊太利ノ民法第五百九十
 八條

續キ

第二百五十四條

何レノ場合等ニ於テモ、水等ノ通路ニ
 必要ナル事業等ノ設立及ヒ保存ハ所有者ノ費用等ニ

於テ執行セラレテアルダロ、夫レ等カ(設立及ヒ保
存ヲ指ス)爲

サレテアル所ノ利益ニ於テ

第二百五十五條

供用ノ地ノ所有者ハ望ムコトヲ得、水等

ノ流路カ、引入ノ爲メニモセヨ、吐出ノ爲メニモセヨ、已

レテ(水等ノ流路ヲ指ス)爲スコトヲ、全部ニ於テ又ハ一部ニ於テ、既

ニ彼レノ(供用ノ地ノ所)土地ノ上ニ存在シツ、堀割等

ニ於テ、若シ夫レ等ノ(運河等)廣狹等カ夫レテ(前文ヲ指ス)堪

ユル并及ヒ若シ既ニソコニ(堀割等)通過スル所ノ水等

カ首領ノ地ニ供シタル夫レ等(水等ヲ指ス)ニ害スルコトニ於

既ニ存在ス
ル運河等ノ
使用

ケル性質ニ付テアラヌ并

互ニ彼レガ(供用ノ地ノ所)得同一ノ條件等ノ下ニ已レ

ニ(同上)用ユルコトニ請求スルコトヲ、彼レノ(同上)水等ノ流路ノ

爲メ、首領ノ地ノ所有者ニ因リ彼レノ(同上)地ノ上ニ爲サ

レタル事業ヲ

一ノ及ヒ他ノ場合等ニ於テ他ノ者ニ因リ爲サレタル

事業等ヲ使用スル所ノ者ハ設立ノ及ヒ保存ノ費用等

ニ於テ分擔ス、彼レノ(使用スル所)利益ニ比較シテ(同上)

伊太利ノ民法第五百九十九條

堰

第二百五十六條

若シ所有者カ流ル、水ヲ使用スルコトノ權利ヲ有シツ、第二百四十三條ノ第一ノ項ニ從ヒ、

堰ニ因リ水等ヲ高クスルコトノ要用ヲ有スルキ彼レカ

(所有者)對向ノ岸ノ上ニ夫レヲ(堰)設クルコトヲ得償金

ヲ約シテ

若シ堰ヲ設ケザリシ所ノ所有者ガ同一ノ水等ヲ使用

スルコトノ權利ヲ有スルキ彼レガ(所有者)彼レノ(同)利得

ニ於テ前記ノ堰ヲ利用スルコトヲ得費用ニ於テ分擔シ

ツ、夫レカ(不定代)前ノ條ニ於テ云フテアル如ク千八

百四十七年七月十一日ノ佛蘭西ノ法律

第三ノ款 立界

立界ニ於ケル隣人等ノ相互ノ權利

第二百五十七條

總テノ比隣ノ所有者等ハ彼レ等ノ(比隣)

ノ所有者)接續シタル所有地等ノ區域ヲ定ムルコトニ於

テ相互ニ己レヲ(同)強ユルヲ得所有シタルコトヲ指示ス

ルノ記標ヲ持テツ、石等又ハ境界杭等ノ手段ニ於テ

土地等ノ習慣ニ從ヒ佛蘭西ノ民法第六百四十六條伊

太利ノ民法第四百四十一條

除去セラレタル土地等

第二百五十八條

立界ニ於ケル訴權ハ場所ヲ持タヌ建

築物等ノ爲メニ「マソーンヌリー」(石、煉瓦、瓦、漆喰等ヲ以テ)

ニ於テ又ハ「シヤルバント」(塀、柵、矢來等凡テ木又ハ鉄ヲ)

ニ於テ閉圍セラレタル土地等ノ爲メヲモ

夫レガ(立界ニ於ケル)又場所ヲ持タヌ、公ケノ道路ニ因

リ又ハ公ケノ水ノ流通ニ因リ彼是レ分界セラレタル

土地等ノ爲メニ

權利ノ期滿
得免トナラ
キル

第二百五十九條 立界ニ於ケル訴訟ハ期滿得免トナラ

スシテアル接續シタル土地等ハ境界ノ定メラレテア

ラナンダリシ以上ハ熟談ニテニモセヨ裁判上ニモセ

ヨ

然レモ若シ隣人等ノ一人ガ己レニ(隣人等ノ一)功用ス

ル片ハ立界ガ要求セラレテアル所ノ土地ノ全部又ハ

一部ノ期滿獲得ヲ又ハ只一年間ノ占有ヲ原告人ハ豫

メ占有回復ノ訴權ニ於テ又ハ所有權取戻ノ訴權ニ於

テ行フコトヲ要スルダロ

境界等ノ設
定

第二百六十條 先立ツ所ノ場合等ヲ除ク若シ境界等ガ

不確定デアリ又ハ爭論セラレテアル片ハ立界ガ所有

ノ証書等ニ記ルサレタル積員及ヒ境界等ニ從ヒ己レ

チ(立界ヲ)爲ス又証書等ノナキニ於テハ他ノ証據等若クハ書類等ニ從ヒ夫レハ(他ノ証據等若ク)夫レ等ヲ(証等ノナキ)補フヲ得ル所ノ

若シ夫レガ(不定代)ソコニ(同)所有ノ權ノ上ニ爭論ガアルキハ夫レガ(不定代)豫メ此ノ事ニ付キ管轄ノ裁判所ニ因リ審判セラレテアル

次隣ノ人等
ヲ裁判所へ
喚出ス

第二百六十一條 隣人等ノ一人ニ於テ欠乏スル所ノモ、ノガ他ノ隣人ニ因リ占有セラレテアラヌデアロ所ノ場合ニ於テ夫レガ(不定代)ソコニ(同)次隣ノ人等ヲ裁

判所ニ喚出スコノ場所ガアル爭論セラレサル境界等ニマテ夫レガ(不定代)然ルキハ爲サレテアル總隣人等ト對質シテ共同ノ立界ニ於テ

若シ夫レガ(不定代)己レヲ(同)見出スキハ土地等ノ全部ノ上ニ積員ノ餘分又ハ積員ノ不充分ガ利益又ハ損失ガ都テノ土地等間ニ己レヲ(利益又ハ損失)分派ス夫レノ

(都テノ土地)廣狹ニ比例シテ

賠償

第二百六十二條 前ノ條ニ從ヒ執行スルコトニ於ケル減

殺ハ供給スルコトニ於ケル賠償ノ方法ニ因リ己レヲ(殺)

スチ指爲ス、ス、ダ、ロ、ー、若シ、其儘ニ、テ、夫レ、レ、上同上執行スル爲メ、

夫レ、レ、ガ不定代建築物等前ヲ又ハ閉圍地等前ヲ蝕込ム、前ノ

必要前アアル、デア、ロー、夫レ、レ、等ガ、建築物又ハ閉圍地等ヲ指ス、第二百五

十八條ニ豫定セラレテアアル如ク

第二百六十三條 若シ立界ガ總テノ關係シタル者等間

ニ協議上ニテ定メラレテアアルハ、夫レ、レ、ガ不定代夫レ、

ニ付テ前文ヲ書面ガ作爲セラレテアアル、彼レ、レ、等ガ、總テ

係シタル者適當ト思量スル、フノ如斯基法式ニ於テ、及

ヒ右ノ書面ハ彼レ、レ、等同ノ爲メ又ハ彼レ、レ、等同ニ對シテ

確定ノ証書ニ價ヒスル、彼レ、レ、等同土地等ノ相互ノ積

員ニ付キ及ヒ相互ノ境界等ニ付キ

相互ノ和談ノ無キニ於テハ、夫レ、レ、ガ不定代右ノ積員等

及ヒ境界等ヲ定ムル裁判言渡ガ爲サレテアアル、添ヘダ、

ル圖面ト共ニ立界等ガソコニ圖面ヲ夫レ、レ、ノ立界等距

離ノ記載ト共ニ明示セラレテアアル、夫レ、レ、等立界等間

ニ土地ノ確定ナル標點等ニ關スル、丈ケ、

第二百六十四條 石等ノ又ハ境界杭等ノ代價及ヒ設置

ガ、平等ノ割合等ニ因リ、夫レ等ガ、石等又ハ境界限

境界等ノ協議上ノ檢証

裁判言渡ニ因ル檢証

數種ノ費用等

界ヲ爲ス所ノ隣人等ノ責任ニ於テ

測量ノ費用等ガ及ヒ書類等ノ又ハ訴訟ノ夫レ等カ

指ス總テノ關係人等ニ因リ擔任セラレテアル彼レ等

ノ(總テノ關係)土地等ノ廣狹ニ比例シテ

然レモ惡シク基キタリト裁判セラレタル爭訟ニ特別

ニ關シタル訴訟ノ費用等ハ敗訴ノ者ノ責任ニ於テ

ル

送りノ

第二百六十五條 立界ニ於ケル訴訟ノ管轄及ヒ他ノ法

式等ガ民事ノ訴訟ノ法ニ因リ規定セラレテアル(第千

八百三十八年五月二十五日ノ佛蘭西ノ法律第六條ノ

第二項)

